

中央公民館だより



守門公民館 図書室

「生涯学習・公民館って何？」

生涯学習課長 星 敏夫



「生涯学習の理念」〈教育基本法第3条〉

「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されています。

「公民館」〈社会教育法第20条〉

「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること」が掲げられています。

〈魚沼市の生涯学習・公民館活動は〉

前述したように、法律による根拠を受けてそれらの目的実現のために、魚沼市には、七つの地区公民館があり、それぞれが個性ある独自の事業活動を展開しています。各公民館の館長や主事が、市内にお住まいの住民の皆さんが、「自らつどい」「自らまなび」「地域のさまざまな団体や機関の間にネットワークをむすぶ」ことを促し、人づくり、地域づくりのお手伝いをしています。

魚沼市においても、今後、少子高齢化や人口減少は避けて通ることはできません。

これらの弊害は地域活力の伸長や子どもたちの健全な成長等にも影響を及ぼすことが懸念されます。

生涯学習は楽しく学ぶ場所でもありますが、学びの成果を生かし、地域に還元していく取組みも求められています。

まずは、一歩踏み出して「自らつどい」を実践してみませんか。何か今までは違った生活の変化が起こると思いますよ。

編み物サークルAMUAMU

入広瀬地区

浅井 美代子



小学生の頃からの趣味だった編み物。ひたすら黙々と、編んでは解いてはを年がら年中繰り返して、着てはもらえぬセーターや帽子などを編み上げては5分ほどにんまりと眺め、豊んではタンスの肥やしにし、自己満足するという編み物ライフでした。

それが数年前にふとしたきっかけで、JAMUAMUを立ち上げる事となり、小学生から大人までのメンバーと、1ヶ月に2回ほど集まって編んでいます。

昔は毛糸や道具もなかなか高く、編み図も本を購入するのが主でしたが、今では100円ショップで全て揃いますし、無料の編み図はインターネットから簡単にダウンロードできます。難解な編み方の動画での説明だって、音声付きで何度も見返せます。

なにか趣味を始めてみようかな、とお考えの方には、是非、編み物をお勧めしたいです。サークルのメンバーも「くさり編みって何？」からのスタートでした。5年ほど経った今はモチーフ編みを繋いだバッグやひざ掛け、編みぐるみなどの小物等、色々楽しんで編んでいます。脳と指先の体操にもなる編み物を、みんながながーく続けていきたいな、と思います。

コーラスすもん

守門地区

佐藤 美恵子



「こんばんは！」「こんばんは！」みんな笑顔で集まってきました。固くかたまってしまった体を少しストレッチでほぐした後、声出しが始まります。「アーアーアーアー」聴きあって、聴きあって」と先生の声。そして歌の練習へ入りかかります。すると、まるでダンスでもしているかのように、前に後ろに右に左にと身振り手振り、譜面台など倒す勢いで身体を揺らし

ます。先生は自ら歌い、また、適切な言葉で私達

を盛り上げひっぱりまわります。この熱心さは、もちろん私達に伝わります。すると、みんなの心が重なり合い、心地よい響きを感じる瞬間です。

最近新しいメンバーが増え、益々充実した練習ができていて、「コーラスっていいな」と心から思います。

二十年以上も続いている会ですが、たいい足ふみ状態です。それでも今夜もまた、響き合う音色に感動したくて集まる仲間です。

健康教室

広神地区

上田 眞藏

私は、二十年前から真向法体操を小出教室で体験してきました。しかし現在は小出教室が閉鎖になり、その時の経験を生かしながら、新しく健康教室を開催しています。開催してから十数年になりますが、メンバーは女性だけで男性は見学に来ては未だ一人もいません。いつまでも元気なのは女性です。年齢は六十代から八十代まで九名の小さいグループです。

高齢になると誰もが体力の衰えと、運動能力の衰えは仕方ありませんが、それを少しでも維持してゆくことが大切です。そのためには、軽い運動と柔軟性をつけることが大切です。

現在、毎月二回の教室ですが全員参加の日は殆どありませんが、毎回楽しく大笑いしながら楽しくやっています。又、終わった後のお茶飲みの会が楽しいです。



Brass 堀之内

堀之内地区

大平 一裕

平成27年3月にスタートしたこの楽団も気が付けば早くも3年が経過し、5月27日には魚沼市小出郷文化会館大ホールで、第2回定期演奏会開催の運びとなりました。私自身の結成当初からの（勝手な）夢だった大ホールでの演奏会が今、現実になろうとしています。

結成当初は現役の「中・高校生」は別として社会人には30年ぶりに楽器を吹く団員もありましたが、子供の頃体で覚えた事は不思議と思いついて来るもので、次第に良い音が鳴る事に正直驚きを隠せませんでした。

現在中学生から70?才の超ベテランの団員まで演奏会に向けて猛練習中です。お互いの良い音を聴き、みんなで合わせて一つの美しい音色をお届けする。

10代から70代までの異なる世代が、その瞬間に繰り広げる、本気の音の世界を一人でも多くの方に楽しんでいただければ幸いです。今後も音楽を通じ多くの方々とおふれあえるように活動していきます。



レクダンス「希楽々」

小出地区

大桃 和代

初めは友人に誘われ、「つまずき防止だと思って行ってみるか」と思い、参加しました。「振り覚えなくて良いよ。」と先生から言われるのですが、自分が想像するより動けなくて、手を動かすと足が、また足を動かすと手がままならず、本当に踊れませんでした。でも、毎回参加する内に、自然に動ける様になって来ました。アイドルの曲やポップスのテンポの速い曲等、様々な曲に合わせて踊るのですが、私の好きな歌謡曲や演歌に合わせて踊る時は、自然に大きく動かしたり、伸ばしたりして、気持ち良く踊っています。手を繋いで踊る曲は綱引きになってしまったり、方向転換する曲では、隣の人とお見合い状態になって、皆で大笑いしています。体を動かす気持ち良さを知り、今はとてもポジティブになったと思っています。毎週木曜日、夜7時半から小出北部公民館でやっています。ぜひ、覗いて下さい。楽しいですよ。



八海書道教室に通って

伊米ヶ崎地区

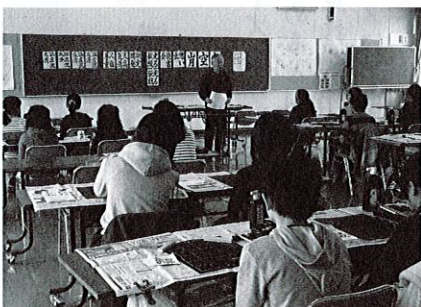
荒井 日向

僕は、二年生から八海書道教室に通っています。書道教室には、伊米ヶ崎小学校の生徒だけでなく、他の学校の生徒も通っています。学校は違うけれど、みんな上手く書けるようになりたいと同じ目標を持って取り組んでいるので、とても良い刺激になります。僕も負けたくないので、たくさん練習をしています。

書いた字は小林先生に見てもらい、その場でアドバイスをさせていただきます。指摘を受けたところは、次に書く時に注意しながら書くように心掛けています。

また、八海書道教室に通ってからは、競書大会や書き初め大会などで、特別賞や特選など大きな賞もたくさん取ることができました。

今年小学校最後の年なので、悔いの残らないように努力をし、よい結果を残したいと思います。これからも、ライバル達とお互いを高め合いながら練習に励んでいきたいです。



湯之谷陶芸サークルはにわ

〜無心で向かう至福の時間〜

湯之谷地区

関 紀美

「母・妻・祖母・娘」の四役を一人でこなす私は、毎日が忙しい。それでも退職の頃にはこれからの人生イメージして、「家庭と世の中」に今までの恩返しを。「心の豊かさや理解力を深め、生活をより豊かに。」と決めたのです。無理せず細く長く続けることができたらとも考えました。

今、「湯之谷陶芸サークル はにわ」の活動を通して、土いじりの技術だけではなく、豊かな関わり合いを学んでいると感じています。会員の息の長い創作活動は多彩で常に若々しく、自由な発想に満ち溢れているのです。土に向かって対話し、結構悩みながら形を作る喜びはでき不出来は置いておいて、本当に楽しいものです。

公民館という活動の場が保障される中、会員同士の優しい心配りにいつも感謝しながら、私の至福の時間は、まだまだ続きそうです。



若返りトレーニング教室

守門地区

高橋 哲

週一回若トレを守門公民館で楽しんでいます。30名近い仲間ですトレッチや筋トレ、脳トレをやっている。70歳近い身体にはきつい時も楽な時もあるが、特筆すべきは暑気払いや忘年会などで和を大切にしている事だ。

また、会場が公民館だから他にも楽しめる事がある。展示室ではプロの絵画や地域の人達の切り絵や写真などが展示され、絵を描く事を趣味にしている私には嬉しい。



掲示板は俳句や書き付け教室などの作品、参加した事のあるスノーシューの写真あるいは地域の行事の写真なども掲示してあり、にぎやかだ。そう言えば、今年も参加しようと思っている注連縄作りの写真もあった。

毎月の公民館だよりは講座案内や参加者の感想等があり、公民館がよく分かるようになってる。図書室もあり、本を探し多く読むようになった私である。

若トレの事と言われながら公民館の事になってしまったなあ。

ふれ愛会

入広瀬地区

浅井 美代子

♪ステップ・クローズ・ステップ・ホップ♪皆で、元気に踊り始めると同時に、万遍の笑顔!!そして今は歳を忘れて少女!?の様に!!

私がフォークダンスに夢中になって三十九年。三十年前に、日本フォークダンス連盟公認指導者資格を取得。今、入広瀬地区ではレクリエーションダンスふれ愛会(めぐい会・スキップ・フラオハナハウオリ・楽舞入広瀬・なでしこ・守門の舞)を結成し十七年になります。これだけ継続出来るのは「楽しい!!」の一言だと思います。それにストレス解消、認知症予防、そして仲間作り。やっぱり、踊らなきゃそんなじゃない!!でしょう。

レクリエーションダンスは老若男女どなたにでも踊れるやさしいダンスです。ふれ愛会は八才から八十才まで三世代で仲良く楽しんでいきます。そして年数回は、施設慰問や各地域のイベントに参加しています。

これからもボランティア活動にも積極的に協力して、ダンスの楽しさを広めて行きたいと思っております。



「認知症を考える」

「地域で支えるには」

小出公民館長 古田島 修

先日、神田神保町界隈を歩いてみた。古本屋街の人混みは相変わらずだが、建物群のイメージは遠くかけ離れていて、昔に通ったであろう店すらも思い出せなかった。記憶力の老化をつぶさに感じた瞬間でもあった。

最近、認知症を取上げるテレビ番組をよく見かける。加齢に伴い物忘れも進むけれども、認知症問題は決して他人事ではない。ある番組では、「言えることは、介護する側のご苦労は勿論のこと、本人も悩んで葛藤してきて今があるという事実です。」と話していた。長寿社会が進むにつれ、この問題は深くなりそうだ。家族だけで支えていくには限界がある。

地域の絆はみんなで培ってきた。今度は、その地域の出番だと思う。誰もが住みなれた所で見守られ、支え合いながら暮らすことのできる社会とするには、地域でどのような支援が考えられるのか。今年度、魚沼市地域包括支援センターと一緒にこの課題に取り組みます。皆さんのご参加をお待ちしています。

◇とき 九月四日（火）十三時三〇分

◇場所 小出ボランティアセンター

公民館関係者研修会を終えて

堀之内公民館 大平 裕也

毎年、公民館関係者を対象に公民館活動に関しての人材育成や関係者間の意見交換をする場として「公民館関係者研修会」を開催しています。

今年は、「公民館活動の活性化をどう図るか」をテーマに十日町市から小川清貴氏を招き、講演をしていただきました。小川清貴氏は、十日町市で長く生涯学習に携わってきた方であり、ミスター公民館と呼ばれるほどのまさに公民館のプロです。

講演会では、公民館がどのような時代背景で生まれたかという基礎的なことから、公民館の役割とはなんなのか、そして生涯学習を進める公民館がなにを求められているかについてお話しいただきました。

参加者からは、公民館の原点を知ることができ、そして公民館の意義について考えることのできた貴重な講演会だったという声が多数上がり、私自身も公民館について考える良い機会となりました。

講演を受けたあとは、参加者がグループに分かれて討議を行うグループワークを行いました。テーマは「生涯学習を進める公民館は現状を踏まえ、これからどのように公民館活動を進めていくか」というもので、公民館活動の良いところ、気になるところ、この先公民館活動をどのように進めていくのかを各々の立場で話し合いをしていただきました。

「地域性や特色のある講座」や「多様な講座」を開催しているといった声が上がった一方で、「公民館」に対して市民の方の関心が低いということや公民館側も情報発信が足りないという声がありました。今後の公民館活動を進めていく上で、情報提供を充実し、もっと関心をもっていただくように努力していかなければいけないと強く感じました。

今回の研修会の中で特に印象深かったのは、「アンケートだけを信用してはいけない」という講師の言葉でした。ロビーワークを大切に、公民館を利用する人や講座に参加する人の生の声を聞き、公民館がより多くの人に愛される場所となるようにしていきたいです。

のつづき
公民館に来る先輩に憧れて

広神公民館 佐藤 ミカ

公民館に勤める前は、市報に公民館の楽しそうな教室があつても、一步が踏み出せなく、「1人で参加する人なんていないだろうな」なんて考えていました。講座を企画し、参加される方々、コミセンにサークルで参加する方々と出会いました。皆さんイキイキ、キラキラ、ワクワクされ、ご友人と参加される方もいますが、お1人で参加される方もいます。教室に参加されれば皆楽しい仲間です。

皆さん上手に時間を使われ趣味を楽しんでいます。そんな素敵な先輩方に憧れ、休日、平日夜と意欲的に学んでいます。ゴスペル、ダンス、体操、木工、キャンプ、ハーブ、リース、草木染め、あみ物、料理、講演会などなど。昨年は母の介護もありましたが、趣味、生かがいをもつことでメリハリがもてました。たくさんの方と繋がる事が出来、自分の考えも変わり、少しずつですが、日々成長が目標です。

30年度も市内の公民館講座、教室は楽しい事が沢山です。今までやらなかった事も公民館講座では参加しやすいと思います。是非みなさんの笑顔にお会いできることを楽しみにしています。



公民館長が交代しました



よろしく

おねがいます

広神公民館

山田 弘行

例年にも増して厳しかった冬が終わり、魚沼の眠っていた大地も日ごとに光り輝く季節を迎えました。四月から広神公民館でお世話になっていきます。

公民館の右も左も判らない状態ですが、訪れる地域の皆さんから声をかけていただくことが、とてもうれしく思う毎日です。気軽に話せる相手がいること、声をかけてくれる相手がいることは、とてもスバラシイことだと考えています。

公民館の専門誌に公民館の特集記事がのっていました。公民館の基本的な役割には「つどう」「まなぶ」「むすぶ」の三つがあるとのことでした。この三つの役割を果たすために、情報の発信や多くのネットワークを構築していくことが、私たちの仕事であると思っています。

今年度の公民館事業もこれから本格的に始動します。参加してみたいと思った方は、公民館へお問い合わせください。一緒に時間を共有した参加者の皆さんとの交流から、他の人たちとの新たな交流が生まれ、その輪を広げていくお手伝いができればと考えています。

だんだん
ど〜も

近年の人工知能(AI)は急速に進歩を遂げて人間社会に浸透しつつあります。

私たちの日常生活支援や産業分野を担って便利で快適になる反面、人の出番が無くなるばかりか、物を柔軟に捉えた判断や発想までもが失われてしまいそうで気がかりなこともあります。

先日、新潟日報におもしろい記事が載っていました。児童書の出版を手がける「フレール館」が募った子供たちのテストで不正解とされた名(迷)答がいくつか紹介されていました。最近の世相を反映したキラリと光る個性豊かな発想に、きつと採点者も苦笑ながら×とした思いや、大人たちが舌を巻く様子がかがわれます。

型にはまらないユニークで、なぜぞ解きのような発想の子供たちを羨ましくも感じた次第です。

来るべきAI時代を迎え撃つには、人工知能が及ばぬ柔軟な考え方や、良き伝統は大切にしていけることがとても重要になるのではないのでしょうか。

そんな人を育てる環境が身近にないかと時折り思う今日この頃です。アナログ分野で頑張る公民館をこれからもご支援いただき、多くの市民からご利用いただくことを期待しております。

湯之谷公民館長 星 義廣

表紙の

守門公民館は図書室を併設している。絵本を大きな声で読み上げる幼児や熱心に学習する小中学生もいる。彼らがドッキングし、微笑ましい場面を創り上げる事がある。

守門公民館長 横山 治隆

編集兼発行人 魚沼市中央公民館長 高橋 健一